

平成25年7月の赤潮発生状況

大阪府立環境農林水産総合研究所水産研究部

整理番号	発生時期	発生海域	赤潮構成種名	発生状況及び発達状況	最大面積	発生水深	最高細胞数	漁業被害の有無
10	6.10～7.8	神戸市から堺市にかけての沿岸域	<i>Skeletonema</i> spp. <i>Thalassiosira</i> spp.	6月10日より続く <i>Skeletonema</i> spp. の赤潮は、7月1日には左記の海域で確認された。さらに7月8日の調査では範囲を拡大し、和田岬と泉佐野市を結ぶ線以東の海域に存在していた。この時、堺市沿岸では <i>Thalassiosira</i> spp. が第2優占種として赤潮を構成していた。その後、7月17日の調査ではこの赤潮は消滅していた。	450km ²		4.32×10 ⁴ cells/ml	なし
11	7.17～	西宮市から泉大津市にかけての沿岸域	Thalassiosiraceae 小型種 <i>Skeletonema</i> spp. <i>Chaetoceros</i> spp.	7月17日、左記の海域で Thalassiosiraceae 小型種による赤潮が確認された。この時、西宮市から堺市沿岸では <i>Skeletonema</i> spp. が第2優占種として赤潮を構成していた。この赤潮は7月23日の調査では西宮市から堺市沿岸に存在し、Thalassiosiraceae 小型種は減少していたが、 <i>Chaetoceros</i> spp.、 <i>Skeletonema</i> spp. とともに複合赤潮を構成していた。さらに、7月29日の調査では範囲をさらに縮小し、西宮市沿岸のみで赤潮となっていた。	250km ²		5.19×10 ⁴ cells/ml (Thalassiosiraceae 小型種 (属不明))	なし